

	<h1>れんごう下越</h1>	<p>第 103 号</p> <p>2014.9.15</p> <p>発行人 小林 久志</p> <p>1部5円 購読料は会費に 含</p> <p>En la union Esta la fuerza</p> <p>団結こそ力</p>
<p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協下越支局 2F TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>		

新潟職業能力開発短期大学校の見学とモノづくり体験



連合下越地協では連合構成組織・単組の理解を深めるため、企業視察と意見交換会を開催しています。第3回目となる今年は雇用支援機構労組新潟支部新潟分会「新潟職業能力開発短期大学校」様のご協力をいただき、8月23日(土)に開催致しました。参加者は親子含め総勢30名、教育現場の見学と親子でモノづくり体験を行いました。「新潟職業能力開発短期大学校」の菅野校長からご挨拶をいただいた後、全員で「新発田祭りパレード」に参加するLEDで色が変わる「金魚台輪」の製作現場を見学し、その後、モノづくり体験と大学校見学に分かれました。モノづくり体験は、①ソーラーバット②からくりペーパークラフト③万華鏡づくり④竹のかざぐるま製作を親子で楽しみました。生徒さんたちの優しい指導の下、子供たちは完成した作品をお土産に持ち帰りました。

見学コースは菅野校長から大学校の「学びの特徴」「モノづくりは未来づくり」「良い未来をつくる技術者を育成する4学部」の説明を受け、「生産技術科」「電気エネルギー制御科」「電気と制御技術」「電子情報技術科」「住居環境科」を見学しました。各科では時代のニーズに対応できるテクニシャンエンジニア育成や先進分野の知識と技術を身に付けたことにより、平成26年度卒業生の就職率は100%で、下越地区に7割の方が就職しているそうです。大学ではOB会を結成したいので連合下越地協の単組に就職した方のご協力をいただきたいとの事でした。今回の見学・モノづくり体験を心よく引き受けてくださいました「新潟職業能力開発短期大学校」の皆さまに感謝申し上げます。

「列島クリーンキャンペーン in 藤塚浜」と「バーベキュー」開催



8月30日(土)下越地協青年女性委員会主催の「列島クリーンキャンペーン in 藤塚浜」を実施しました。同海水浴場での清掃活動は8年目となりますが、クリーンキャンペーンを実施してからは22回を重ね、地域に貢献できる行事として定着しています。今年の参加者は、20単組大人102名 子供44名が参加し、夏を楽しんだ後の砂浜を綺麗にしました。作業終了後、紫雲寺記念公園にてバーベキューを開催しました。約70名の参加となり異業種交流として賑やかな時間を過ごしました。子供達には夏休み最後の楽しい行事となりました。

新潟県の最低賃金、715円に上昇 効力発行は10月4日から

新潟県の最低賃金を決める新潟県最低賃金専門部会は、7月8日に第1回を開催し、最終となる8月8日に、今までの701円から14円アップした「715円」が県の最低賃金なることが決まりました。専門部会において労働者側委員は、消費税引き上げ分3%とそれともなう物価上昇率への考慮や新潟市において生活保護より最低賃金の方が44円下回っていることに関して早期に整合性を図る必要性などを訴え、当初23円の引き上げを主張しました。それに対して使用者側は、燃料・原材料価格の上昇や電力料金の値上げによるマイナス分や県内経済の先行き不透明の状況などを主張しました。これを受け労働者側も15円アップまで歩み寄りを示したものの最終的な合意に至らず、公益委員によって示された14円アップの715円という見解に基づく採決にて、労働者側は反対したものの公益委員ならびに使用者委員の賛成によって採決に至りました。

「米粉のまちたいない」で見学・ランチを
楽しむツアー

- ・日 時 10月18日(土) 10時30分～14時00分
- ・体験内容 小国製麺(米粉製造の工場見学)、
ロイヤル胎内パークホテル
(米粉ランチ・温泉)
- ・参加費 大人 1,500円 子供 500円

「ディーセント・ワーク世界行動デー
10.15新潟集会」の開催について

- ・日 時 10月15日(水)
新潟集会 18時15分～18時40分
デモ行進 18時40分～19時30分
- ・開催場所 新発田市カルチャーセンター正面
- ・集会内容 主催者代表挨拶、リレートーク、
集会アピール採択、